常磐毎日

発行所
平市田町75
常磐毎日新聞社
営業部専用 1,210
編集部専用 1,269

若き世代に贈る
御婚礼家具調度品
三面タンス各種
洋服タンス
ベビータンス
姫鏡台　針箱
伊東家具店
平市新川町 電四六四

明日のお天気

「今晩」西よりの風で晴れ。「明日」西ないし南西の風で晴れのち時々曇り。「海上」今晩は風波やや高いでしよう。明日は風波あるがのちおさまる。

砂の乱堀は高潮招く

これ以上ごめんだ

四倉　地元民ら立入禁止通告

四倉町仁井田地区海岸の海砂はその利用度からも「日本一の砂」と折紙がつけられ、地元のセメントカワラ製造などに大いに利用されているが、このまま無制限に採取をつづければ海岸がおかされ高潮の危険にさらされると部落民たちが反対、また同町上仁井田の砂濱組合でもこれ以上乱堀すれば高潮などの災害はまぬがれないとして町当局に善処方を陳情すると共に砂の採取に当つている同町馬車組合に対し来る二十五日までに部落の所有地を貸しておく砂濱場の撤退と部落所有地内の通行禁止を文書で通告した。これに対し馬車組合では砂の採取を止められては組合員死活にかかわるとこれまた町当局に善処を要望しているが、地元側の態度も相当強いのでこの「砂騒動」は相当尾を引くものとしてその成行きが注目されている。

業者には死活問題

町当局に善処を要望

この問題は旧ろうから同町上仁井田砂濱組合（組合長岡田鶴吉氏＝組合員百二十名）と同町馬車組合（組合長佐藤利氏＝組合員二十五名）とが、こぜり合をしていたもので、砂濱組合側では再三にわたり上仁井田東山部落民と同組合員が集まり、今後における砂採集について話合い、このままではシケが来襲した場合に高潮の危険があるからと、馬車組合に貸していた部落を所有地＝豊間－四倉間を結ぶ（海岸線道路）の上仁井田地内の道路にそつて延長百八十米、巾員二米の土場（砂濱場）＝を二十五日限りで取りあげることと同地内の車馬の通行を禁止することを申し合せた。

これを聞いた馬車組合側では、これでは我々二十五名の死活問題だと二十一日午前十時ころ、町当局を訪ね、組合長はじめ全組員が〝なんとか善処方をお願いします。〟と鈴木町長に要望した。馬車組合では毎年二回平土木事務所から砂の採取許可権をもらつて採取に当つているが平土木事務所での許可採取量は一年間で四倉馬車組合が二千四百リユーベ、大浦馬車組合一千六百リユーベ、磐城セメント四倉工場三千リユーベとなつており、年間一リユーベ採取料は百円である。

現在の馬車組合での一日の採取は一馬車平均八台で一回の運搬賃が八十円から九十円で海岸の渚から約五十米地点の土場（砂濱場）まで運搬、同場からはトラツク（一日平均十三台）小型四輪車、三輪車などでヒユーム管工場や建築業者に運搬している他に馬車でセメント瓦工場に一回一馬車の運賃が百三十円で運んでいるが、これらのしごとが出来なくなつたら同業者は即日生活がおびやかされるという。

これに対し鈴木町長は次のように語つている。

『町に取つては大きな問題であり、砂は四倉町の重要な役割を持つているため、地方の重工業に及ぼす影響は莫大である。砂の取り方で高潮の恐れがあると聞いているが、この問題の調整は地元部落民と馬車組合、平土木事務所並びに町当局とで懇談会を近く設けて、出来るだけ両者の納得の行くように善処方をする考えである。なお馬車組合員のなかには指定された場所から砂の採取をしないで他の方面から取つているような話を聞いているが、このような不道徳極まることではいけないから認識して貰いたい』

部落民らの話　「四倉海岸の砂はセメント瓦、ヒユーム管建築用には最も優秀な砂であり、我々は砂を取るなとは言わないが余り取り過ぎた形で昨年の台風二十二号の時は夜も寝ずに警戒に当つたこともあり、高潮におののいていた。ただ砂を取る時は今までのようにトラツクで一日に十五－三十台、馬車で一日百二十台－二百台と採取されては、いくら無尽蔵の砂でもなくなることは当然であり、ある程度まで一日幾らかの基準を出して採取してほしい」

馬車組合の話　「我々が借用している砂濱場を二十五日までに撤退して貰いたいといわれ、今組合員は途方にくれている始末で、土場を取りあげられたら二百メートルも三百メートルも砂の上を馬車を引いて歩かなければならないし、砂運搬が出来なくなれば食べることもできず死ぬ他にありません。これで漁港でも活気があれば何んとか暮らせるが、今のところでは砂の運搬だけであり、土場を設けたのもトラツクや小型自動車などの運搬の便を図つたもので上仁井田の部落民から大部苦情が出ているが、我々組合員は今まで迷惑をかけた積りはなく、ただ砂が最近になつて非常に少くなり海岸が狭くなつたので今後台風の来襲で高潮が押寄せて来たらどうなんだとある部落民から強くいわれたことがあり、たしかに以前は砂を取り過ぎたと思われることもあつたが、今後は一日の採取量を決めて取る考えです」

【写真は問題の砂濱場】

東京だより

寒波が襲来しているためか、わが政界もマヒしてしまつたようである。第一に岸首相の評判の悪いこと。最近の東京各新聞は一斉に筆を揃えて岸首相をコキ下している。このところ中央政界は妙な空気にあつて、主流派と反主流のニラメツコが続いている。このまま進めば大相撲にならぬとも限らぬ空行きにある。折しも忙しい中を岸首相が春場所見物とシヤレ込んでいるかと思うと、社会党の浅沼書記長もまた連日観戦とある。相撲見物してあの手この手を研究しているところであろう。

岸回生の妙薬

城山山人

岸さんもスツタモンダのあげくようやく補充閣僚のみは決めた。これで一月公選が円満に収まつたのかときにあらず、依然としてニラミ合いは続き、いつ爆火するか判らない。このところ時限バクダンを抱いているような自民党内部の様相に対し、国民のみは冷静になつて眺めているようである。こう寒くてはふところ手をしているよりほか致し方がないと放任すべき問題でもない。然らばどうするかとすると一朝一夕には決められない第三党の話がまたしても持上つてくるか、これに対しては国民は反対のようである。

岸首相としても池田氏の入閣拒否によつて、事態は相当悪化しているといわねばならない。それを大臣病患者と診断して、大臣のイスを与えれば誰しもが承知するであろうとタカをくくつていたのがそもそもの誤診原因であつたようだ。いかに大臣のイスを与えるといつても承知しない強硬な態度のウラになにかあるかを反省せねばならずこれらの政治感覚が岸首相も寒さのため不感症になつたのではあるまいか。

目標は一月公選の総裁のイスにある。岸の評判が悪るく、いたずらに主流派のみが実権を握つている現在のありさまに、反主流派としても公選のメドがついたとみている。それで岸追い出しの策として対決しようと足場がために努めているが、果してこれまたそのお膳立てのように行くかどうか疑問とするところである。

このように自民党内部がいつも争つているようでは、国民が承知しない。財界方面も主流、反主流で金もうけしているような有様では、まさに特権階級の買物を眺めているようなものである。ここらで自民党も甘い汁のみを夢見ることなく、脱皮しなければ自滅のほかはあるまい

それで起死回生の妙薬はないものかとなるが、現在のところ岸首相自らの脱皮と、いわゆる主流派の取りまき連の追放とをせねば、明るい正しい政党に乗ることは不可能であろう。反主流派は「岸内閣も彼岸に来ている」とわが世の春を早くも歌つているが、事実彼岸までにはどうなるか一切が判然とすることだろうが、いつまでもかかることの争いのために、政治が後退し、また一つも進まないとしたらわが国の悲劇である。

一日も早く明朗に、そしてよき国政が行われるよう、われらは大いに希望するところである

小型横転二人重傷

二十二日午後七時五十分ごろ、平市南町地内市道で平市仲町平沢広志さん（一八）は塚本商店所有の小型四輪車を運転、前方にてい車していた車をさけようとしたところ、ハンドルを切りそこねて横転した。このため平沢さんは上唇、左鼻裂傷で一カ月、また助手席にのつていた平市仲町大橋栄治さん（一八）は左耳、前額部裂傷で一カ月の重傷をそれぞれ負つた。原因は平署の調べでスピードの出しすぎ。

悪性のカゼ流行

平保健所で注意要望

数日来の寒波により石城地方に悪質なカゼが猛威を振いはじめた。このため平保健所では近く調査に乗り出すことになつた三十二年の流行性感冒のような流行ではないが、現在のカゼは熱が下がらず、気管支炎、肺炎などの余病を併発する恐れのあるという悪質なものだけに同所でも調査のうえ予防対策を樹てるようになつたものである。

平保健所管内においてはいまのところ集団的発生はみられないので、流感ではないとみているが、これは去る九、十、十一日と全国を襲つた寒波が原因しているのではないかとみている。同所には現在カゼの集団発生などの報告はないが、このカゼの散発的な発生が本格的な流感を誘発する恐れがあるのではないかともみられており、映画館や乗物などの人混みではマスクをかけ、外出後は必ずウガイを励行することなどを呼び掛けることになつた。とくに今回のカゼは気管支炎や肺炎の余病を併発しやすいものである。

また流感は春先に蔓延する恐れがあるので、早期発見と早期治療を励行するよう望んでいる。さらに県では二十二日関係機関に万全の体制を整えるよう指示する一方、各保健所にワクチン二百七十五本（約一万五千人分）を配布したが、集団発生なども予想されるので、さらに二百本（約一万二千人分）を厚生省あて追加注文した。

平保健所の話　「いまのところカゼ発生の届出はないので何とも言えないが、悪性であるようだ。今後調査してその予防対策などを樹てたいと考えている」。

ことぶき学級で映画会

四倉町公民館では毎月一回老人の憩の場所として〝ことぶき学級〟を開いて老人たちから好評を博しているが、同館では町内の部落単位毎に開くことになり、二十五日午後一時から田戸部落の犬突不動尊で開き、映画と話合をすることになつた。

七地区で五千余匹捕殺

県が平市夏井など石城管内七カ所に水田害虫の防止のため設けた予察燈（誘が燈）が誘殺した二化メイ虫の結果を発表した。この誘が燈は二化メイ虫を退治する目的で平市夏井、好間村、常磐市、磐城市、遠野町、四倉、平市神谷の七カ所に設置したもので、五月十一日ころから飛来して六月九日から十三日ころまでと終ぞく期の七月下旬までの一化期には七カ所で五千八百七十三ビキ。このうち好間村のゆうが燈は一番多く一千二百八十二ヒキ、遠野町一千百六十七ヒキであつた。また二化期の八月上旬から九月中旬までは三千九百九十二ヒキ、平市夏井の一千三百十四ヒキと磐城市の一千二百五十五ヒキで、一化期には山間地、二化期になると平たん地に多く飛来することがわかつた。

中小企業法の説明会

県中小企業団体中央会では二十七日午後一時から平商工会館会議室で中小企業協同組合の整備促進事業についての説明会を開く。これは中小企業等協同組合の整備事業促進事業の一環として「整備促進事業」と「整備促進計画の樹立」について行う。

地方選挙の日取り

有権者数などきまる

県石城事務所では二十二日、今春執行される地方選挙の期日、有権者数など選挙概況について発表した。県議、市町村長および同議会議員選挙日は公職選挙法臨時特例によらない三月任期満了となる磐城市議会議員と小川町長および同議会議員選挙を除いて臨時特例法により四月一斉に行なわれる。

まず県議選は四月八日告示、同月二十三日に選挙を行なうことになり、選挙区も石城郡は定員二人（有権者十二月二十日確定四四、七四六人）平市定員二人（四〇、六七一人）内郷市定員一人（二一、三三一人）常磐市定員一人（二四、一八四人）磐城市定員二人（三〇、七九一人）勿来市定員二人（二六、一六八人）である。

また市町村長および同議会議員は四月三十日に選挙期日となり告示は市にあつては同月十八日町村にあつては同二十一日となつている。改選になる首長は平、内郷、勿来の三市と遠野町、田人村、川前村議員では平市など三市四カ町村で定数は平市三十六人、内郷市三十人、常磐市三十人、遠野町二十人、田人村十八人、好間村二十八人、川前村十六人である。

高校は関西へ遠出

目白押しの修学旅行

大寒入り以来寒さが急に厳しくなり、東北地方での寒さはこれからだというのに、春の修学旅行が続々申込まれ石城地方では三月二十六日に磐高の三百八十人が修学旅行のトツプを切るほか各小、中、高校では五月までに一千五百人が一斉に行うことになる。以下は日本交通公社平案内所がまとめた〝楽しい修学旅行〟各校のプランをみてみよう。

春の修学旅行のコースでは高校は関西旅行一辺倒で五泊六日。小、中学校でも同じようなコースを選んでいる。中学校は日光、東京、鎌倉、江の島の日帰り、小学校は東京都内めぐりの日帰りコースである。

これら修学旅行一人当りの経費は高校で五千円台から、ちよつと寄り道する組は五千五百円台。中学生は二千五百円、小学校は八百円台といつたところで、高校を除く小、中校とも市町村ごとの連合が多く、すべて臨時列車となつている。

同案内所が調べたところでは、三月から五月までの三カ月間に一千四百六十八人の学童、生徒が参加し、この分だけで旅費は百七十万三千九百余円で、まさに修学旅行ブームを現出しそうだ。各校の旅行日程は次の通り（カツコ内は人員）

「三月」▽二十六日…磐高（三八〇）▽二十七日…勿来高（一八〇）

「四月」▽一日…磐農上遠野分校（四〇）▽四日…小名浜商（二五〇）▽十四日…湯本高（三九）▽十五日…磐農一班（五八）▽十七日…同二班（一〇〇）▽二十日…平工（二八九）平地区中学連合一班（八一〇）▽二十一日…同二班（八一〇）▽二十二日…同三班（八一〇）

「五月」▽九日…四倉高（一八〇）▽十四日…四倉地区小学校連合（八〇〇）▽二十一日…平地区小学校一班（一、三五〇）▽二十二日…同二班（一、三〇〇）▽二十三日…内郷地区小校連合（一、五〇〇）▽二十五日…勿来地区小学校連合一班（一、一〇〇）▽二十六日…同二班（一、〇〇〇）

常交の勿来車庫着工

常磐交通勿来営業所（所長小野武保氏）ではこのほど勿来市関田町字和久地内にバス車庫の建設に着工した。同車庫は鉄骨鉄筋コンクリート造りで面積は三千五百四●三六平方メートル、工事請負者は大成建設KK錦出張所で完成は三月末日の予定

平署で優良署員を表彰

平署は年間成績優良者四十五人を二十二日表彰した。表彰者は捜査関係十名、鑑識関係三名、防犯関係五名、警備関係七名、交通関係六名、外勤関係五名、無線自動車関係三名、看守関係四名、一般職員二名であるが、氏名は次の通り

◆捜査関係＝平梨修、高橋武信、大沼実、荒家六郎、福地つた江、太田義昭、郡正、東条経治、後藤義勝、添田辰義◆鑑識関係＝野内正三、佐藤秀一、添田辰義◆防犯関係＝関東俊勝、浜田辰義、寺内聡、浅沼定夫、酒井忠治夫、八巻健造、馬場俊夫、斎藤雄◆警備関係＝松崎源吉、郡正、福地つた枝、関東俊勝◆交通関係＝安田喜佐夫、寺内聡、紺野直一、佐藤秀一、渡部喜作、舟山六郎◆外勤関係＝郡正、山沢進一、樋口貞之、市川松治、平間孝◆無線自動車関係＝舟山文夫、佐々木正義、高橋孝雄◆看守勤務関係＝後藤敬次、阿久津克、橋本弘、君島清則◆一般職員＝小松正喜、阿部弘

赤井小ハ増築完成

平市赤井小学校の増築工事は昨年十月、東部産業が三百四十三万円で請負い着工、工事を進めていたが、このほど立派に完成した。完成した校舎は薄緑色の木造モルタル二階建、総面積約四百三十二平方メートル（百三十一坪）で、普通教室四室が増えて従来まで教室不足に悩まされていたものが大幅に緩和されたもので、児童たちも喜んでいる。

予備地域の計画指導

三十三年度に農林漁業予備計画地域に指定をうけていた平市第三、内郷、川前の三地域が二十七日に県経済課員などにより振興計画樹立指導をうけることになつた。

農林漁業予備計画地域には三十三年度に田人村が本指定をうけ平第三、内郷、川前、磐城第一遠野、勿来第二が予備地域に指定されているものであり、三十四年度中に、これら予備地域の七地域のうち二、三地域が本指定をうける可能性が強くなつている。

平三中で校庭整備陳情

平第三中学校PTA会（会長渡辺秀行氏）はこのほど二十一日路椿市長を訪ね、校庭の早期整備について陳情した。この三中校庭は九年前に整備拡張工事に着手、失対事業などにより進めていたが、思うようにはかどらない状態だつたこのため昨年市土木課や学校側が関係方面や自衛隊の演習工事で行なつてほしいなどの陳情をしたもののこれも実現に至らず、降雨の場合などは校庭が水浸しとなつて使用不能となつている。このため今後は請負工事か共同的工作事業のいずれかにして的確な予算措置を講じ、早急に整備してほしいというものである。

魚菜市況

青果（単価キロ当り）

▽ネギ	二五－四〇
▽〃（小束）	一二－一八
▽ホウレン草	七－一三
▽アブラナ	二一－三八
▽ニンジン	二〇－三五
▽ゴボウ	一五－三五
▽白菜	六－一〇
▽大根	三－一〇
▽〃（干）	一〇－一六
▽キリイモ	三〇－四〇
▽ミカン	六五－一四〇
▽タマゴ（一個）	九－一三
▽リンゴ	四五－一〇〇
▽バナナ	二三〇－二七〇
▽馬鈴薯	一〇－一七
▽サツマイモ	一五－二〇

魚類（単価キロ当円）

▽ナメタ	一二〇
▽アンコ	二七
▽ヤナギ	二〇〇－一四七
▽フグ	八五

カメラは田中

余韻

砂の採取をめぐつて微妙な対立を続けている四倉町上仁井田部落のいわゆる「砂騒動」は、部落民が砂濱場の撤収と部落所有地内にある道路の通行禁止を通告するに至つていよいよ深刻な波紋を投げている▼だまつておいても侵しよくされる海岸の砂をこれ以上乱堀することは、侵しよくの速度を早め付近一帯の耕地をみすみす高潮の危険に追い込むようなものだ。自分の足元がけずりとられるようなことに所有地を提供しておくわけにはゆかない、というのが部落民の主張である。毎年高潮を心配しながらアクセクとしている部落民としては至極当然のことであろう。▼が、片やこの砂によつて生計をささえている採取業者側からみれば、いまこの採取を止められることは死活問題でもある。しかもこの砂は一ころ全国をふうびした「四倉セメントカワラ」の大事な原料でもあるのだから問題は深刻だ。両者から同時に善処を要望された町当局も片方立てれば、片方立たずで頭の痛いことだろう▼大いに名裁きをみせて貰いたいところだが、同時に考えておきたいことは「ママア主義」で急場は切りぬけたとしても、現状維持では近き将来にもつと深刻な事態となつてぶり返す可能性が十分にあるということである。表面は部落民と業者の対立という型で現れた問題ではあるが、本質的なものはもつと大きな問題である。▼島国の悲劇ともいうか日本の陸地は年々僅かではあるが沈む運命をたどつている。もつともその現象の顕著な新潟などでは早くから日本の科学を動員してその対策に乗り出しているが、近くの例では防波堤の外側で魚干しもできた久ノ浜の砂浜がこ二十年ほどの間にその姿を消し直接防波堤に波が打ちつけているように双葉から石城にかけての海岸浸しよくは甚だしいものがある▼政府では近くこのような沈下の顕著な地域を重点的に調査することになつているがこの平地区もその地域の中の一つとして含まれているところをみても、単なる「砂騒動」とかたづけられない気がする。

今日の歴史

第二回衆議院総選挙－与党過半数、共産党三十五議席を占める。（1949・昭和24）

酒喜庵提供

寒いときには
熱かんの一ぱい
寒酒も晩酌も寒い時にはどうしても熱酬が好まれるようですが、熱酬の酒を更にいか徳利にうつしてお召上りになれば風味とうまさが一だんと増します
○いか徳利　一本　四五円
○紀文のいか汐辛　一本　四八円
○酒悦の福神漬　一本　三八円
土曜特売　コーヒー、ココア
越
藤越
平市 銀座

さわやかな舌ざわり
コクのある清酒
[illegible]福
鷲酒造店
勿来市植田町 電三

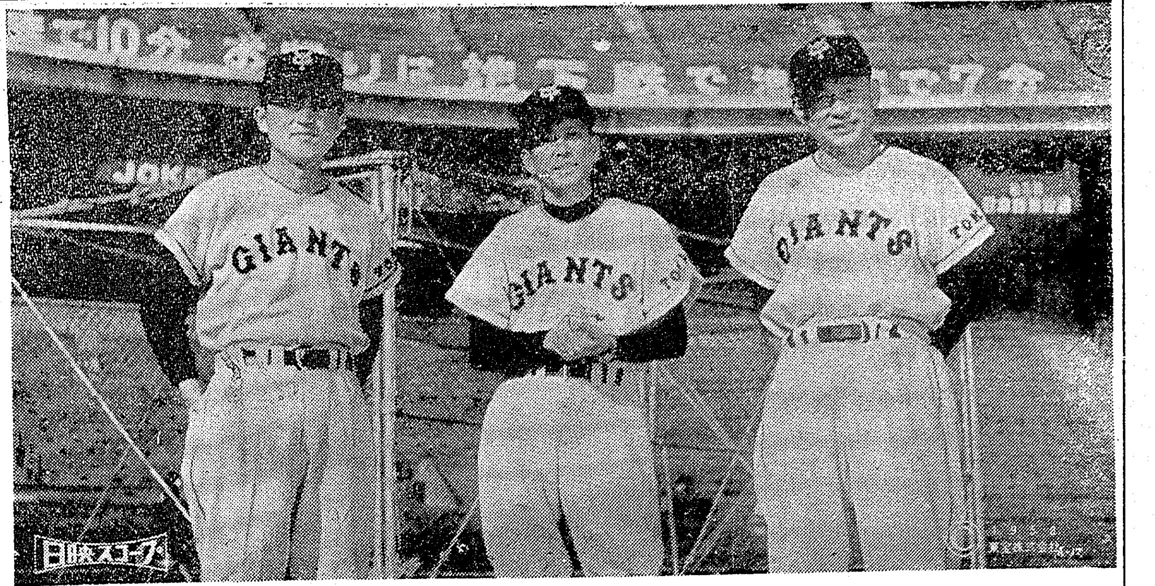
公認
不動産売買・仲介評価貸家斡旋
平宅地建物取引所
平市才槌小路踏切際 色川材木店内 電三六一番

※素晴しい栄養と味覚
コーヒーミルク
ヨーグルトミルク
牛乳
◆電話にてお申込み下さい　係員を参上致させます
◆配達迅速
協
四倉町農協
四倉町新町　TEL164

新のり　暴落しました約半値です
鰹節　良質の品安値です
昆布　各種揃つています
煮干　良品出始めました
干物専門店
宍戸屋商店
平市四丁目 電二一一五

TOHO SCOPE
巨人軍物語懸賞当選発表
今回当館にて行いました巨人軍物語懸賞に際しましては多数御応募下さいまして有難う御座いました
本日常磐毎日、いわき民報社立合のもとに厳せん抽せんの結果左記の通り決定致しました
正解
1 背番号14番 沢村栄治投手
2 社長太平記
☆特賞一名（バツト・グローブ・ボール）
平市月見町 田中清子
☆A賞十名（野球ボール・招待券 バツト型ペンシル）
平市 才槌小路佐野健 北目町大友昭雄 研町佐々木武實 北目町福島建士 童子町長瀬憲司
紅葉町草野絹子 紺屋町加治廸子 高月町江尻周二 旧城跡根本正行 平電話局山田喜一
☆B賞三十名（バツト型ペンシル）
平市 紺屋町水竹二三子 北白土加藤みつ 田町姫田行浩 杉平小田栄子 下河原鈴木勝己 北白銀町吉渡一 紅葉町草野正 才槌小路吉田正明 鎌田町加藤智加子 土橋加治成子 才槌小路竹山かつ子 田町政井博 草野鴻沼節子 御厩野木叶 勿来市錦町篠田憲一 小川町上平村上孝雄
北白銀三浦澄男 五色町花沢博司 長橋町熊谷京子 三倉町鈴木京子 七軒町鳥居塚豊 高月町江尻澄子 田町伊藤利八 二丁目佐藤明雄 五色町馬場防人 内町猪狩光男 研町佐々木左武郎 北目町大友隆二郎 内郷市小倉坂本敏昇 磐城市竹町中野英泰
尚
特賞　A賞には本人宛通知致しましたからハガキ持参の上賞品と引換え下さい
又B賞には賞品をお送り致しました
昭和三十四年一月二十三日
民劇

寒さに負けぬ栄養の
補給はレストランパール
の御食事から
スパゲツチイタリアン
スパゲツチミートソース
チキンマカロニ
マカロニビーフ
レストラン
パール
平市三田小路 TEL1388



プロ野球の名門
ジャイアンツの総て

映画　民劇

巨人軍物語

日本プロ野球の名門"東京読売巨人軍"の生い立ちから始まり、沢村投手時代から渡米中の活躍、第二次大戦中の軍部の圧迫を受けた時代を通つて、戦後の黄金時代までの歴史を描き更にはゴールデンボーイと云われる長島の入団から日本シリーズを経て野球の神様と云われた川上選手の引退問題など戦前から戦後に至る巨人軍の歩みを逐一捉えたもので、これがそのまま日本プロ野球史にも通ずる長篇記録黄金巨篇である。

歴史篇の部分には、正力松太郎氏（読売新聞社々主）、市岡忠男氏（初代総監督）、三宅大輔氏（野球評論家）、鈴木惣太郎氏（読売巨人軍取締役）、鈴木竜二氏（セ・リーグ会長）といつた日本プロ野球発生期の原動力となつた人たちに登場してもらい、当時の秘蔵写真を紹介しながら話を進めて行く形式をとつている。その他昭和六、九年のベーブルースを含むオールアメリカンチームが来日した折の熱戦の模様は中野新一郎氏の提供フイルムによるなど、関係各方面からも協力を仰ぎ出来得る限りの資料を使つて画面を賑わす。

なを、現代篇は、ワイド画面により、王選手も混わる巨人軍二軍の多摩川球場の練習風景、後楽園に勢揃いしたスタアプレヤー達の打撃手、投球フオームの高速度撮影、涙を呑んで敗退した日本シリーズの第一、五、七戦の熱戦風景など数々の興味深い場面がおさめられている。

製作は堀場伸世、構成演出を岡田弘、大峰晴が共同であたり、以下撮影●橋本正、平木靖、飯野博三郎、録音●国島正男、音楽●平井哲三郎、進行●武井守夫、監修●鈴木惣太郎、宇野庄治、野口務のスタッフ。

▽球団の発足と球団名の由来＝昭和六年、第一回来日のアメリカチームを迎え打つた全日本軍は、殆んどが六大学選手で構成されていた。その後「入場料をとる野球には学生は出場してはならない」という文部省の禁止令が出されたがそれより三年後再度来日するアメリカチームを迎えるに当り、読売新聞社の正力社長はプロ野球チームの必要を痛感、読売運動部長市岡忠男氏とアメリカ野球通の第一人者鈴木惣太郎氏の協力を得て、昭和九年六月九日、「大日本東京野球倶楽部」という球団の発起人会が開かれ、十二月二十六日には創立の運びとなつた。これが後の"東京読売巨人軍"の母体である明けて昭和十年、東京倶楽部の第一回アメリカ遠征に際し、先発していた当時のマネージャー鈴木惣太郎氏が、シールズのオドール監督と打ち合せ中、ニツクネームの話になり、日本でも良くしられているアメリカの大チーム、ジャイアンツに因んでトーキョージャイアンツと呼ぶことになつた。そして遠征を終つて帰国後正式に決定したわけだ。

▽背番号十四の偉業＝市岡総監督の名で、静岡草なぎ球場に全選手が招集された昭和十年一月十四日京都商業から馳せ参じた若冠十七才の青年こそ、三十年目に一人出るといわれた天才投手沢村栄治であつた。三宅大輔監督の名コーチによつて三〇センチはゆうに落ちるという懸河のドロップをマスターしたのはこの初練習の時だといわれているが、その後の渡米中の活躍は目覚しかつた。遠征の決果の百十試合中七十五勝一引分……

税金相談

【問】所得税について青色申告をしたいと思いますが、どうしたらよいのですか。

【答】青色申告をしようとする年に営業所得（営業、農業、その他事業）不動産所得、山林所得を有する人で、とくに申請して税務署長の承認をうけることになつておりますので、本年から青色申告を行うとする人は本年三月十五日まで申請書を税務署長に提出しなければなりません。申請書用紙は税務署に用意してあります。申請の内容は青色申告をしようとする所得の種類、たな卸資産の評価方法、固定資産の減価償却方法、記帳方式（複式簿記、簡易簿記など）備付帳簿（現金出納帳、売上、し入れ、売掛、買掛、固定資産の台帳、経費帳）などです。

（解答は平税務署）

遭難の20人救助
磐城の宝勇丸　感謝の手紙で判る

東シナ海のサバ漁に出漁中の磐城市栄町鈴木房吉さん所有第一宗勇丸（七三トン）＝秋山忠雄船長ら三十人乗組＝は小名浜から鹿児島へ向う途中遭難貨物船を発見、全乗組員を救助して鹿児島港まで無事に送り届けたことが、二十二日乗組員を救われた貨物船の船主、鹿児島県サツマ郡下野貞三さんから鈴木さんにあてて届けられた感謝の手紙で明らかにされた。

この手紙によると去年十二月十五日午前五時ごろ、下野さん所有の貨物船信生丸（三五〇トン）が九州南端の沖合いでしけにあい、浸水して乗組員二十人が救助を求めているところを宗勇丸が発見、全員を無事救助して十七日朝鹿児島まで送りとどけたというもの。遭難した信生丸は無線装備がなかつたため遭難を知らせることもできず、もし宗勇丸が見つけなければ全員が絶望だつたとつけ加えられてあつた。

営農指導打合せ

平市営農指導打合せ会は二十六日午前九時から市役所委員会室で開き❶種子対策事業の運営❷蔬菜の奨励❸病害虫防除対策などについて協議する。

種子対策としては水稲、麦類については品種別にして各地区に即応した種子を普及し作付計画を樹立する。また採種圃を設置して八割を三カ年で新種にとりかえるが、方法としては一年目に二十七町歩、二年目五十七町歩、三年目には計画の八〇%に当る八十町歩を完遂しようというもの。水稲種子としては農林十号、二十五号、二十九号、フクスケ、ヤチコガネ、セキミノリ、改良千本もちを主に普及、価格ももちが一キロ当り六十二円、うるちが一キロ五十八円の安値で斡旋することになつている。

常磐で山林焼く

二十二日午後零時五十分ごろ、常磐市湯本町三函勝行院住職稲正たかさん（七三）と同地内若松幸一郎さん（四〇）所有の山林から出火、地もと民、常磐消防団など約五百人が消火作業にあたつたが、二年生杉と下草など七アール（七反歩）を焼いて午後一時三十分ごろようやく鎮火した。損害は常磐署の調べによると約二万円で、原因は部落の少女A子ちやん（五つ）のマツチのいたずらとわかつた。A子ちやんはあまりの恐ろしさに泣きだしてしまつたが、少女のマツチのいたずらで火災になつたのは同市ではこれがはじめて。

NHK第1

6	00	子供の時間
	25	1丁目1番地
7	15	録音ニュース
	30	花の星座
8	15	劇「菊のいのち」
9	15	即興劇場
	40	時の動き
10	15	近世名勝負物語
	30	ラジオ喫煙室
11	10	人さまざま
	40	夢のハーモニー

ラジオ福島

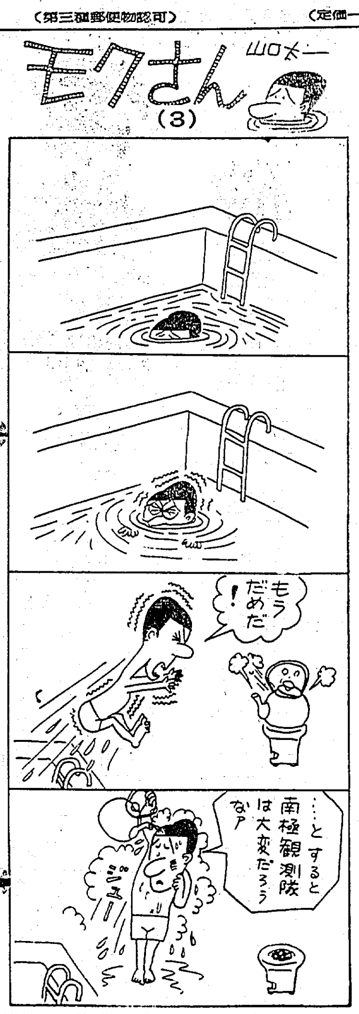
6	00	チヨコラの童話
	20	赤胴鈴之助
7	15	中合アワー
	30	エンゼルタイム
8	00	素人歌合戦
	50	亀角散スイートメロディ
9	00	浪曲歌合戦
	30	歌の星座
10	05	連続浪曲
	25	ガイドタイム
11	05	時事解説
	20	大学受験英語講座

NHKテレビ

⑥	10	チロリン村とクルミの木
	40	スポーツグラフ
⑦	15	バス通り裏
	30	花の星座
⑧	15	ハイウエイ・パトロール
	45	劇「世直し箱」
⑨	30	日本の芸能
⑩	00	大相撲今日の好取組
	22	ニュースの焦点
⑪		

ラジオ福島（明朝）

⑤	25	朝の随想
	35	録音風物誌
⑥	10	農家の手帳
	45	スワローメロディ
⑦	10	一粒エチケット
	35	朝のスーパーメロディ
⑧	10	ご気嫌いかが
	40	チヨ子さん
⑨	00	陽気な山彦さん
	30	SB歌謡アルバム
⑩	10	奥さまお手はそのまま
	50	愛しきはあの人
⑪	30	昼の希望音楽会
	55	農家のいこい


モクさん ③
山口ベー
もう だめだ！
…とすると南極観測隊は大変だろうな
ジャー

減らぬ保護受給者

五市を除く石城七カ町村の生活保護者数は依然としてヨコバイ状態のまま経過し、減る気配がみられない。

石城福祉事務所が扱つた同管内の保護者数は実数では八百二十六世帯、三千五十六人となつている。これら保護者のうちで全然働き手のない家庭が圧倒的に多くみられ全体の三十九%という高率である。この内訳では病弱、老令が大半を占めているほか、子どもをかかえて働きに出られない母親も割合に多く目立つている。地域別では好間村と遠野町が一番多く、四倉町は保護者の率が低いのがみられる。保護の内訳は次の通り（カツコ内は世帯数）

◇住宅扶助…一〇三九人（二四九）◇教育扶助…一〇四五人（四六八）◇医療扶助…八〇六人（五九三）

勿来署で優良署員表彰

勿来署は二十一日午前十時三十分から同署会議室で、昭和三十三年度年間業務成績優秀者を表彰した。表彰された者つぎの通り。

❶摘発関係＝一位深谷重夫、二位菅野幸吉、三位菅野俊夫 ❷捜査関係（犯罪検挙優秀者）＝A専従員一位源間幸二郎、二位江尻亮雄、B専従員外一位村山金蔵、二位八巻栄二、三位菅野俊夫 ❸警備関係＝A専従員鹿目八郎、Bその他一位秋葉俊夫、二位中村勝吉、三位須田健次 ❹防犯関係＝一位中村勝吉、二位蔵野幸一 ❺かん識関係＝一位佐藤一、二位村山金蔵 ❻外勤活動関係＝A交通係松川倉三、B外勤活動一位秋葉俊夫、二位矢吹覚、三位伊藤寿晴、四位須田健次 ❼警察通信業務＝電話交換手佐藤光子 ❽捜査事務＝警察書記大竹政徳

発煙筒でストップ
勿来踏切で非常訓練

「二十二日朝、勿来市関田町地内の常磐線踏切でトラツクが線路の外に転落、上り旅客列車と通行中の下り貨物列車に踏切警手が発煙筒を打ちあげ、信号で除行させトラツクと運転手が危うく難をのがれた直後、こんどは乗客三十人をのせた大型バスとトラツクが踏切上で接触、立往生した—」との想定で、同日午前八時四十分から勿来市常磐線植田踏切で勿来署、交通安全協会勿来支部、水鉄平駐在運輸長、勿来駅共催の踏切事故防止ならびに列車の緊急停車手配の非常訓練を、本物の貨物列車、バス、トラツクを動員して行つた。

毎年増えている自動車の踏切事故を防ぐのがねらいで、水鉄局から清水平駐在運輸長、楢本局列車課長補佐、鈴木泉、斉藤植田各駅長、関平保線区長、警察側は原勿来署長と平、内郷、常磐、磐城、勿来各署の交通係長同主任、民間から交通安全協会役員、常磐交通バスの運転手、車掌、勿来市内の交通関係者約三百人が参加。トラツクが踏切上で立往生する第一の事故想定から訓練に入つた。

スピーカーをつけた勿来署のパトカーが駅構内で待機、北条勿来駅長の説明につづいてモデルのトラツクが踏切上にエンコすると、かんぱつを入れず、踏切警手が下り貨物列車を止めるのに隣駅の方向に六百メートル走つて雷管を、トラツクの運転手が二百メートル走つて発煙筒をそれぞれしかけたが訓練開始と同時に本物の貨物列車が現場を通過、実演をする方も、見る方も緊張そのものだつた。

このあとバスとトラツクが踏切上で接触事故を起し、バスの乗客三十人を退避させたり、列車停車の手配を行う訓練や踏切の開閉機にトラツクが衝突したときの国鉄の緊急対策が披露された。同十時からは小松、高木勿来駅助役指導で発煙筒の操作訓練があつたが、生まれてはじめて発煙筒を手にした交通安全協会役員、警察署の交通係長、バスの車掌さんらは真剣な顔つきだつた。終つてから反省会が開かれた。

水鉄局の発表によると三十二年度の管内の踏切事故は合計百五十二件、二十五人が死亡、二十五人が重軽傷を負つている。

原勿来署長の話

「事故を防ぐための訓練としては有意義だつた。こんでも国鉄の協力を得て機会をみて事故防止の研究会を開きたい」。

パイル打ち

常磐二中　安島邦雄

ドスン、ドスンと今日もあのうるさい音が響いてくる。あの音はアパート建築の土台を築くためのコンクリートパイルを打つている音である。十五メートルもある屋台を組んでモーター滑車、おもりロープを使つて五、六人の人達がせわしい中にも楽しげに働いている。服はもう油やゴミや泥でぴかぴかに黒びかりしている。一人が額に汗をにじませて機械を運転している。

最初はコンクリートパイル（これはコンクリートでできている十二メートルもある鉛筆の形をしたもの）にロープをまきつけクレーンのように持ち上げて打ちこむべき穴に入れるのである。この時が一番むづかしいのである。この時指揮者の顔、運転する人の顔は真けんそのものである。これが仕事をする時の本当の姿なのである。しやべつても機械の音があまりすごいので、全然聞えない。

運転者は指揮者の呼笛と動作で操作するのである。パイルが入ると一人がするする屋台を登つてパイルをまつすぐにし、おもりが中心に当るようにする。そうすると今度は打ち方が始まる。パイルの上に直接あの重いおもりが落ちたのでは割れてしまうので、パイルの上に鉄の冑のような物をかぶせてその上におもりをおろして打つのである。

ここの土地は去年やつた所に比べるとずいぶんやわらかい。それでおもりをパイルの上にのせるとスーと五メートル位入つてしまうのである。それからは威勢のよい音ドスン、ドスンとパイルを打ち込む。夕方も会社に勤めている人達が帰るころになると道路いつぱいになつて、このめずらしい仕事をながめながら「すごいなー」とか「ずいぶんでつけえなー」という声があちこちから聞えてくる。

◎　◎

平でネズミ退治

平市衛生課では、人命や家財に甚大な被害を与えるネズミを一掃しようと三十一日から二月四日までの五日間、全市内の各家庭でネズミ退治を実施することになつた。このため当局では薬品を無償配布するが、退治結果については二月十五日までに集計する。

求人案内（1月23日現在）

▽男子 ▼印刷画工二（平市）二〇—三〇経五年通日三〇〇—四〇〇▼雑役一（平市）一八—三〇通日二〇〇▼醸造工一（四倉町）一八—三〇住月三五〇〇—五五〇〇▼洋服仕立職一（常磐市）一六—一八住月一〇〇〇▼紙箱製造工一（平市）一六—一九通日一〇〇▼写真製版工二（平市）二〇—三〇経五年通日三〇〇—四〇〇▼旋盤工二（磐城市）一八—三〇経二年通日二五〇—四〇〇▼製缶工三（磐城市）一八—二五通日二五〇仕上工一（磐城市）二五—三五経三年通月一一〇〇〇▼熔解工一（平市）二五—三三通日三〇〇▼配管工三（常磐市）一七—二〇通日二〇〇—二五〇▼坑内保線夫二（常磐市）四〇—五八経十年通日三五〇▼土工一〇（四倉町）二六—四五通日四〇〇—四五〇▼配達人一（平市）一八—二三通日一五〇—二〇〇▼製パン工見習二（平市、四倉町）一六—一八住月一〇〇〇—一五〇〇

▽女子 ▼管理者一（福島平）二〇—四〇経二年通月八〇〇〇—一五〇〇〇▼看護婦一（栃木県鬼怒川温泉）二七—三〇経一年住月七二〇〇▼事務員三（平市）一八—二四通月四〇〇〇▼店員多数（平市、常磐市、内郷市）一六—二三通住月通三五〇〇—四〇〇〇住一五〇〇—二〇〇〇▼炊事婦一（平市）一八—五五住月三〇〇〇▼マッサージ見習五（神奈川県箱根町）一八—三〇住月二〇〇〇—三〇〇〇▼アイスクリーム仕込工二（平市）一八—二五通日一五〇▼織布工三（愛知県豊橋市）一六—二〇住月三〇〇〇▼雑役婦五（平市）一六—四〇通日一五〇

慶弔録　23日

【平市】

「出生」▼今宮直文（長橋町一七精一長男）▼鈴木京子（下平窪鍛治内三九猛長女）▼阿部典以子（才槌小路二五清三女）▼勝沼初江（東京都北区たか嗣長女）▼細川宏一（柳町一一圭造長男）

「婚姻」▼森尾典也（館林市重次郎二男）と白川雅子（長野県けさ雄長女）

今晩の映画

【平市】

★平館　二十八日迄　電[illegible]
六、〇〇　単車で飛ばそう
七、一〇　危険な群像
八、三五　不道徳教育講座

★平新東宝　二十八日迄　電[illegible]
三連勝幸運娘
爆笑王座征服
侠艶小判鮫

★世界館　二十八日迄　電[illegible]
ぬれた瞳
遊太郎巷談

★平映劇場　二十八日迄　電[illegible]
ふり袖ざくら
無法街の野郎ども

★民劇　二十八日迄　電[illegible]
巨人軍物語
社長太平記二

★聚楽館　二十六日迄　電[illegible]
マラカイボ
偽将軍

★ひかり座　二十六日迄　電[illegible]
荒野の道
裸者と死者

【内郷市】

★綴映劇　二十四日迄
血だらけの駅馬車
暴力部落の対決
遠い道

★第二いわき　二十七日迄
かんざし纏
裸の太陽
一肌ぼたん

【四倉】

★国際劇場　二十四日迄
恋をすつた女
大阪の女

★海座　二十四日迄
泣き笑い日本晴れ
嵐の中を突走れ

★東宝　二十四日迄
嵐の中を突走れ
泣き笑い日本晴れ

▲菊多館　二十七日迄
捕物道中
母と拳銃

▲植田館　二十七日迄
裸の大将
つづり方兄弟

文具のナガノ　平市銀座　電一〇八

常磐名産（登録済）
常磐　常磐
黒羊かん　おいしいアメ
黒ぴかん
黒ぴかんアメ
常磐地方の人気をさらつた
唯一つの名産品
常磐線各駅鉄道弘済会
有名商店にて販売しております
あさ川製菓株式会社
水戸市大工町広小路　電2561・2908
支店　平市南町　電1414

常にトツプを行く！
流行ビニール靴
紳士　婦人　子供
運動靴　ゴム長靴　合羽
三友ゴムKK
平市紺屋町　電四〇八
一流メーカー品在庫豊富

D.P.
カメラとシネ
富士商会
TEL. 2144

銘菓
六段最中
平凡

雲山
平市紅小路
電二一六四

宝石の毛糸
ダイヤモンド毛糸
卸部 電354
小売部 電14
平銀座　ハシモト毛糸店

御宮
平市新川町
橋本屋

福助ミシン・トヨタ編物機
河合ピアノ・オルガン
緑の小山商会
ミシン部・楽器部
TEL 1576

御礼の心をこめた贈物
時計
眼鏡
万年筆
指輪
ラジオ
★時計の検査には
★電気タイムグラフアー使用
平指定商加盟店
山崎時計店
平市五丁目　電九九一

栄養満点な！
美味第一経済的にも神戸特選霜降牛肉が一番お徳用です！
鎌倉ハム各種特約店
緑屋牛豚肉問屋
本店　平市一丁目　電五三九
支店　平市中央通り　電七九四

尼子まんじゆう

電話一つで一里の出前
酒喜庵
電三二・一〇一番

内科外科
金成医院
平市鎌田町　電八二六

皮膚科性病科
矢吹医院
平市古鍛冶町　電（平）一一九三

味のとんかつ
大寶
平市銀座通り　電九六八
出前迅速
カツライスの部
松ライス　一三〇円
竹ライス　一八〇円
梅ライス　二三〇円
かつ丼の部
鶴かつ丼　一五〇円
亀かつ丼　二〇〇円

貸切の御用命は
電話640番
尼子タクシー